

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)	◎	観光名所（従業員）	・2月中旬から週末や祝前日の乗客数が明らかに増えてきている。これから暖かくなることで新型コロナウイルスの感染動向が抑制傾向になることが見込まれる上、人が動きやすい季節にもなるため、にぎわいの復調が期待できる。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染者数が減少してきており、終息の兆しが見られる。暖かくなっていく時期でもあるため、今後は徐々に外出が増えることが見込まれる。生活様式は変化してきているが、街にも少しずつ活気が戻ってくることになる。
	○	商店街（代表者）	・高齢者への新型コロナウイルスワクチンの接種が4月から始まる予定であるため、ワクチン接種を終えた高齢者の来街が増加することが見込まれる。自粛生活が続いているなか、使うことのできる金はあると見込まれるため、一部の業種を除き売上はアップする。
	○	商店街（代表者）	・鮮度を落とさずに長期保存しているりんごの販売が3月中盤から始まることで、青果市場は持ち直す見込まれる。また、春野菜などが市場に多く出てくることもプラスである。我慢はまだ必要だが、緊急事態宣言の解除に伴い、経済は徐々に回復すると期待している。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・今後の景気は徐々に良くなるとみているが、当社の売上の45%がアジア人観光客によるものであり、外国人観光客が戻るまで、あと5年くらいは掛かるとみられることから、まだまだ大変な状況は続く。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	・酒類を提供する飲食店舗への休業要請が2月15日に解除されたことで、売上が回復した。新型コロナウイルスの感染者数も減少しているため、今後の景気は徐々に上向くことになる。
	○	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が始まり、新規感染者が抑えられることで、景気も回復傾向に転じることになる。
	○	百貨店（営業販促担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が落ち着いてきたことから、客の来店が徐々に回復してきている。今後はこうした傾向がますます強まることになる。これまで苦戦していた衣料品に動きが出てきていることから、消費マインドの改善がうかがえる。
	○	スーパー（店長）	・前年は北海道独自の緊急事態宣言により、外出自粛、休校、食料品以外の店舗休業などが行われていたため、前年以上の売上となることはほぼ間違いない。問題は一昨年と比較してどこまで回復するかということである。密を避ける意識がまだ高いことから、ファッション衣料や化粧品関連は苦戦が見込まれる。
	○	スーパー（役員）	・新型コロナウイルスの感染が確認されてから1年が経過し、内食が習慣化してきたことで売上のペースが上がってきている。そのため、今後の景気はやや良くなる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったことから、明るい雰囲気が出ており、予定どおりに緊急事態宣言が解除されることになれば、人の往来の動きも若干出てくることになる。
	○	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が普及することで、夕夜間の人の動きが以前のように戻ってくると見込まれる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスワクチンの効果が徐々に現れることで、景気の回復につながることを期待している。
	○	乗用車販売店（従業員）	・新型車種が出るため、今後は販売量が増えると見込まれる。
○	その他専門店〔造花〕（店長）	・新型コロナウイルスが終息し、景気対策が行われることで、経済が多少は上向くことになる。	
○	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染動向が収まってきているなか、新型コロナウイルスワクチンの接種も始まり、このままワクチンの接種がどんどん進むことで、観光客の動きが回復することが見込まれる。そうなれば景気は上向きとなる。	

○	高級レストラン（スタッフ）	・ 2月一杯で飲食店への営業時間短縮要請が解除されるため、今後、飲食店利用が少しずつ増えてくることを期待している。ただ、高級店を利用するような年齢の高い世代は、新型コロナウイルス感染への不安感などから、活動が鈍いとみられ、前年比50～60%程度の売上にしかならないことが懸念される。また、このような売上にとどまることになれば、休業中のアルバイトスタッフの再雇用は難しい。
○	観光型ホテル（スタッフ）	・ 国内からの個人旅行とスポーツイベントによる宿泊予約がみられることから、低調ではあるものの、今後の景気はやや良くなる。
○	旅行代理店（従業員）	・ 緊急事態宣言が解除されることに加えて、新型コロナウイルスワクチンの接種が進むことで、Go To Travelキャンペーンなどの施策も復活することが期待される。これまで抑制されていた旅行需要が初夏の花観光から徐々に回復することを期待している。
○	旅行代理店（従業員）	・ 緊急事態宣言が全て解除され、新型コロナウイルスワクチンの接種が順調に進むことになれば、現在よりも旅行への意欲が高まり、多少は申込みも増えると期待している。ただ、Go To Travelキャンペーンについては、開始時期や適用条件にはっきりとしていない部分があるため、大きな期待は持てない。
○	旅行代理店（従業員）	・ 緊急事態宣言について6府県の解除が予定されていることに加えて、65歳以上の高齢者への新型コロナウイルスワクチンの接種が始まる予定であることから、多少は旅行需要が高まることが期待される。ゴールデンウィークの間合せも少しずつ出てきていることから、2月よりは改善することになる。
○	旅行代理店（従業員）	・ 新型コロナウイルスの感染者数がこのまま減少し、新型コロナウイルスワクチンの接種が始まれば、空気が変わることになり、景気もやや良くなる。
○	タクシー運転手	・ 新型コロナウイルスワクチンの接種が始まることで、少しずつ人の流れが出てくるのではないかと期待している。
○	通信会社（企画担当）	・ 例年、新入学や就職に伴う通信機器の購入、買換え需要が期待できる時期である。今年は通信料金の値下げの効果もあり、前年以上の販売量となることが期待できる。
○	美容室（経営者）	・ 新型コロナウイルスの感染者数の減少やワクチン接種などに関する報道の影響もあり、直近の雰囲気はやや良くなってきている。そのため、後は景気が少しずつ上向くことになる。
○	美容室（経営者）	・ 季節的な要因として、春を迎えて雪解けが進むことで客の動きが良くなる。また、これまで新型コロナウイルスの影響で控え目だった客の動きが活発になることに加えて、美容室に来店することへの警戒感が薄れることで、来客数の増加につながるが見込まれる。
○	住宅販売会社（経営者）	・ 新型コロナウイルスワクチンが海外から届き始めていることから、5月頃までには新型コロナウイルスが終息すると期待している。株価も引き続き堅調に推移すれば、景気は順調に回復することになる。
□	商店街（代表者）	・ 新型コロナウイルスワクチンが出回ってきているが、まだ必要な量が十分に行きわたる状況とはなっていないことから、景気が良くなるという見通しが立たない。
□	商店街（代表者）	・ 新型コロナウイルスの影響が続くことが見込まれるため、今後も景気は変わらない。
□	百貨店（役員）	・ 現状、新型コロナウイルスの感染動向が落ち着いているようにみえるが、今後、どのように変動するのかが分からないため、先行きの見通しについては不透明な状況にある。
□	スーパー（店長）	・ 新型コロナウイルスワクチンの接種が本格化し、大多数が接種を終える夏頃から景気が好転することを期待しているが、現時点では何とも言えない。また、東京オリンピックが開催されるかどうかポイントとなる。
□	スーパー（役員）	・ 売場で客の節約ムードが感じられることから、今後2～3か月は現状のまま推移する。一方、新型コロナウイルスワクチンが普及し、人の動きがやや活発になれば、来客数獲得を狙った安売り合戦が行われるようになり、景気に悪影響を及ぼすことが懸念される。

□	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響が出てから1年が経過することで、前年比の上では減少していた外販売上が回復に転じることになる。その一方で、伸びていた家庭内需要向けの商材が落ち込むことになる。プラスとマイナスが相殺されることでトータルの売上には変化がないことが見込まれる。
□	衣料品専門店（店長）	・いまだに経済の落ち込みが続いていることから、今後も必要最低限の購入が続く。ただ、前年と比べれば、多少は良い状況が見込まれる。
□	家電量販店（経営者）	・先行き不透明な面はあるが、今後については空気清浄機やエアコンの売上が引き続き期待できる。
□	乗用車販売店（経営者）	・地場の主要産業が停滞している状況にあるため、緊急事態宣言が解除され、人の動きが活発になり、観光客を中心とした動きが出てこない限り、景気に大きな変化はみられない。
□	乗用車販売店（従業員）	・景気は以前よりも良くなっているが、劇的に良くなることまでは望めない。新型車が出るため、その効果は現れるとみているが、新型コロナウイルス禍のなかで販売量や来場数が大きく伸びるとは言えない。
□	乗用車販売店（従業員）	・これまで自動車業界では大きな落ち込みがなかったことから、今後も景気は変わらない。大規模イベントの開催が未定なことから、大きな動きは見込めない。
□	自動車備品販売店（店長）	・新型コロナウイルス禍における感染対策や感染者数などのニュースに大きな変化が起こらない限り、小売店の景気は変わらない。
□	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向になれば、景気はますます悪くなる。
□	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンの供給量が制限されそうなことから、この数か月で国民の行動に大きな変化は起こらないとみられる。
□	旅行代理店（従業員）	・少しは景気が上向きになると信じたいが、新型コロナウイルスの感染状況次第で政府の対策が変わるような流動的な状況にあるため、正直先が読めない。
□	タクシー運転手	・住民の消費行動への欲求は強くなっているが、新型コロナウイルスの感染状況を考えると、実質的な行動につながることは期待できない。新型コロナウイルスワクチンの接種が一般的にならない限り、景気回復は見込めない。
□	タクシー運転手	・これまでの来客数の流れから、営業収入は微増するとみられるが、景気は大きく変わらない。ただ、新型コロナウイルスワクチンへの期待は高いため、ワクチン接種が進むことで人の流れが少しずつ増えてくることを期待している。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルス禍のなか、観光などの人の動きが全くないため、先行きが見通せない状況にある。今後、新型コロナウイルスの第4波が生じることになれば、大変なことになる。とにかく新型コロナウイルスワクチンの効果で新型コロナウイルスが終息することを期待している。
□	タクシー運転手	・医療従事者を対象とした新型コロナウイルスワクチンの接種が実施されているが、一般の人に行きわたるのは夏以降になるとみられるため、景気が回復するまで1年程度掛かることになる。
□	観光名所（職員）	・国による緊急事態宣言、北海道による集中対策期間の影響により、来場者が激減している。非常に苦しい状況が続いており、先が見通せない。緊急事態宣言の解除、新型コロナウイルスワクチンの接種、Go To Travelキャンペーンの再開などについても、感染拡大が繰り返されることのないような適切な時期での実施が望まれる。
□	その他サービスの動向を把握できる者 [フェリー]（従業員）	・Go To Travelキャンペーンなどの再開のめどが立たない限り、現状の利用客の減少傾向は変わらない。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス不況の影響が、今後徐々に出てくるのが懸念される。
▲	スーパー（企画担当）	・コロナ禍が長期化しているなか、企業倒産、人員整理などによる雇用所得環境の悪化が懸念されていることから、買い回り品などの日用品に対する客の価格感応度が一層厳しくなることが見込まれる。
▲	コンビニ（エリア担当）	・毎月の来客数が減少傾向にあることから、今後の景気はやや悪くなる。

	▲	コンビニ（エリア担当）	・地場産業の衰退と所得減少により、当地での購買動向は今後ますます厳しい環境になる。
	▲	その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・節約が当たり前のことになっている。先行きへの不安もあるため、今後、本格的な買い控えにつながり、景気が落ち込むことが心配される。新型コロナウイルスワクチンだけでは、景気は元には戻らないとみられる。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で所得減少が続いている現状から、短期間で住宅市場が好転することは考えにくい。
	×	商店街（代表者）	・緊急事態宣言が出された影響で、当地における観光業の売上は前年の5%にも満たない状況にある。新型コロナウイルスの影響が始めてからそろそろ1年を迎え、観光業は虫の息である。対策は旅行者向けのものに集中しているが、大きな影響を受けているのはホテルや観光土産品店であり、これらの業態では企業存続が限界に近い状態となっている。末端を対象とした救済策を出さない限り、国内の観光業は壊滅することになる。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・この2～3か月で新型コロナウイルスの感染者数が落ち着く状況となり、緊急事態宣言が解除されることになれば、Go To Travel キャンペーン再開の動きも出てくるとみられるが、当初のように客がすぐにキャンペーンを利用することにはならない。新型コロナウイルスの影響は依然として大きく、航空機の乗降客がいまだに50%を下回っているなど、心理的な面で移動に対する不安が大きいことから、観光客が例年の半分以上という状況はしばらく続く。売店における飲食の売上も前年の3割台、悪ければ2割以下という状況が続く。
	×	スーパー（従業員）	・新型コロナウイルス禍のなか、客単価の上昇が続いているが、上昇幅が縮小傾向にある。また、新型コロナウイルスの影響が生じてから1年が経過することで、急増した食料品の売上において、前年からの反動減が現れることになる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルス終息の見込みが立たない。新型コロナウイルスワクチンの接種が始まっているものの、一般の人への接種は夏以降になるとの見解であるため、今後しばらくは新型コロナウイルス感染者数について一進一退の状況が続くこととなり、人の往來の回復は見込めない。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続くと思われるため、これ以上景気が良くなるとは考えられない。
	×	タクシー運転手	・例年、当地では雪のある3月までタクシー利用が多く、暖かくなり雪解けが進む4月以降に利用が激減することになる。今年は新型コロナウイルスの影響もあるため、前年と同様に4月以降もタクシー利用が低迷したままで推移する。
	×	美容室（経営者）	・今後については、新型コロナウイルスワクチンの効果次第の面がある。
企業 動向 関連 (北海道)	◎	*	*
	○	建設業（経営者）	・今後、公共土木工事が順次着工することになる。稼働量が本格的に上向くのはまだ先とみられるが、マインドが上向くことになる。建築工事は、官庁によるものは例年と同様の動きが見込まれるが、民間によるものは新型コロナウイルスの影響がどう現れるか読めない面がある。一方、街中の景気については、飲食、観光、交通関係などの景況感がかなり悪いため、なかなか上向いてこないことが懸念される。
	○	建設業（従業員）	・新型コロナウイルス禍が終息するめどが立ったのか、これまで凍結していたホテル建設工事の見積り依頼が複数件あり、僅かながらに建設業界の景気が回復すると期待している。
	○	建設業（役員）	・公共土木工事の公告に伴い、新規受注が期待できる。北海道における新型コロナウイルス対策の集中対策期間が終了し、感染抑制が見通せる状況となれば、民間の設備投資意欲も回復することになる。
	○	通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったことから、新型コロナウイルス終息への期待感の高まりとこれまでの行動自粛からの解放により、景況感は改善することになる。
	○	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染対策の効果が出始めていることから、観光や外食などの景況感が回復に転じることが見込まれる。

	<input type="checkbox"/>	食料品製造業（従業員）	・現状の景気を上向かせるような案件が見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	食料品製造業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか見通せないため、今後の販売量への影響も不透明である。
	<input type="checkbox"/>	家具製造業（経営者）	・実体経済が伴っていないにもかかわらず株が高騰しており、一種のバブル状態となっている。近いうちに調整局面に入ることも考えられることから、一本調子の回復は期待しづらい。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（支店長）	・春を迎えて、建材鋼材類のほか、飲料関係の荷動きが活発になることを期待したいが、新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか先行きが全く読めない状況にある。
	<input type="checkbox"/>	金融業（従業員）	・財政、金融政策により道内景気が下支えされているなか、新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったことから、消費マインド、投資マインドへの好影響が期待される。そのため、道内景気は一進一退しつつも現状維持が見込まれ、3か月前と変わらない水準で推移することになる。
	<input type="checkbox"/>	司法書士	・新型コロナウイルスワクチンが国民に行きわたるまで、まだ時間が掛かるため、景気が上向くのは今夏以降になる。そのため、当面は景気回復の実感がないまま、現状と同程度の水準で推移する。
	<input type="checkbox"/>	司法書士	・現状、景気は悪いが何とか持ちこたえている状況にある。新型コロナウイルスワクチンの接種が徐々に進むことによって、景気が多少上向くとみられるが、2～3か月よりも長い期間が必要とみられる。
	<input type="checkbox"/>	コピーサービス業（従業員）	・業界にもよるが、新型コロナウイルスの影響がまだ続くともみている取引先もあるため、今後しばらくは先行きが明るくなることはない。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・緊急事態宣言が解除された後、東京オリンピックがどうなるか、その動きに注目している。ただ、今後2～3か月の状況は変わらない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金属製品製造業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で業績が悪化している会社が多く、失業者も増加していることから、今後の景気はやや悪くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・来年度の受注について、確定している案件が例年よりも少ない。
	<input type="checkbox"/>	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・上半期の仕事量が少ないとの予測があるほか、ベース商材の売上ダウンが心配される。大型物件受注の動きが止まっていることもあり、今後の客の買い控えが懸念される。
雇用 関連 (北海道)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・今後については、緊急事態宣言や集中対策期間が解除されることで、飲食店や小売店などで求人の募集が始まることを期待している。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・北海道による集中対策期間が順調に終わり、新型コロナウイルスワクチンの接種もスケジュールどおりに進むことになれば、消費行動が上向きになり、経済活動も動き出すことになる。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスワクチンへの期待感と基幹産業である農業の安定性から、ゆっくりではあるが、景気が上向くことを期待している。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・現在の生活スタイルが定着しそうな雰囲気があり、景気が良くなる要素が見当たらない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・新規求人数、就職件数が前年を上回っているものの、雇用調整助成金の相談が増えてきているなど、新型コロナウイルスの影響が依然として見込まれるため、今後も景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・現状をみる限り、景気が良くなる要素はないが、急激に景気が落ち込むことも考えにくいので、今後しばらくは一進一退の状況が続くことになり、景気は変わらないまま推移する。ただ、企業の体力が持たなくなり、離職者が増えていくことが懸念される。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染動向が終息に向かい、経済対策を打てるようになれば、企業の新卒採用活動にも弾みが付くが、まだ不確定な情報しかないため、今後2～3か月はこのままの状況が続く。

▲	人材派遣会社（社員）	<p>・新型コロナウイルス禍のなか、来期の事業計画の見通しが立たず、人員体制をどうするか、雇用調整を行うかどうか悩む企業が増えていることから、今後の景気はやや悪くなる。</p>
▲	職業安定所（職員）	<p>・当地における新規求人数は前年比マイナス10.8%、月間有効求人数は前年比マイナス10.7%となっており、いずれも減少している。当面は現在の水準で推移するとみられるが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で需要が低迷する一部の業種において不安定な動きが継続していることから、なお予断を許さない状況にある。</p>
×	—	—